丙午時下宗門の方々お
かりの延命院法華経
面授日又日蓮聖人御会試
講会の方々も出席
只今入会法華経
春風の編輯趣意書
日記と題歌よりあり
書入れ出版の十年
万葉集」と日記紀
歴の中は四十五頁の表
「日蓮」を自分と和漢
混一を和を削除
ない生涯の御のを
尺とい上と「ふ」と書か
只主家世と同書部

尺といと思ふ」と有るが
只二字丈と云ふ事は
今を刪除せもつてもて
玉他も後に有るの通
りとてこゝに出るの
有るべきが只
某時の和一通ひし
事記載しなる文
数解なる
より有きしのみを
他も一字も変文と云
りあり、四十六頁の和
め＝元かの氏の月課
まも多人の手なる事
氏とおもといふ教訓が
深へてあるやうなれども、この辺
の事年のあき方なども
果してどうであるかとも
お疑ひ多し

[illegible]てどうでもあるかと
お疑ひ申候共
もし文之兵とかゝとか
申出しに決して
アトからはせかへしものて
て無之、こんまつて
どうでもとうしてゝ
申合アとも有
[illegible]ぬてゝ
申おてゝ
[illegible]
十一月廿四日

[illegible]
[illegible]

東
文